



2025年
令和7年
1月号
No.485

The Newsletter of the Town of Taiji



迎春

目次

新年挨拶	2
特集	4
トピックス	5
お知らせ	6
住民福祉課便り	8
社会福祉協議会便り	10
学芸員便り・くじらの博物館便り	14
保健衛生関係行事予定	16



新年あけまして おめでとうございます

太地町長 三 軒 一 高

皆さま方におかれましては、希望に満ち、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は町政の各般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

年頭にあたり新たな決意のもと、太地町の将来ビジョンとなる「くじらの学術研究都市＝全町公園化」の実現に向け、誠心誠意全力を尽くしてまいる所存でございます。

さて、本町においては、昨年4月に国際鯨類施設が供用開始され、国内外の研究者が本町を訪れるなど、同施設において鯨類に関する様々な研究が開始されました。また、同施設の指定管理者となる一般財団法人日本鯨類研究所の研究者が定住するなど、新たな人の流れの創出に繋がっております。自動運転電動カートについては、エリア拡大を実施、サービス開始から延べ利用者が2万人を超えるなど、住民の皆さまの身近な交通手段として定着してきました。

本年は、町制施行100周年の記念の年であります。先人が幾多の困難を乗り越え、連綿と受け継がれてきたこの町の「共同の精神＝くじらの恵みは全住民に」を再確認するとともに、住民の皆さまにとって変化のある町とすべく、また、住んでよかったと実感できるよう、引き続き全力でまちづくりに取り組んでまいる所存であります。

この一年がすべての住民の皆さまにとりまして、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、一層のお力添えを申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年あけまして おめでとうございます

太地町議会議長 福田 忠由

町民の皆さまにおかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えになられたことと、お慶び申し上げます。年頭にあたり議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、平素より町議会に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国際鯨類施設が完成し4月からオープンしました。鯨類の調査・研究や情報発信を行い、町が目指すくじらの学術研究都市の拠点となる施設であります。この施設の会議室やホールは一般の方も利用でき、図書室では日本鯨類研究所が所蔵する鯨類に関する書籍や雑誌の閲覧が可能となっております。また、5年ぶりに姉妹都市ブルームより訪問団が来町され、両町の交流が再び始まりました。10月は太地町・白馬村姉妹都市提携40周年を記念し、白馬村を訪問させていただきました。ようやくにぎわいと活気に満ちた日常が戻ってきたと感じており、喜ばしいことだと思っております。

また、当町では、新たなサービスとして、自動運転車両の暖海地区路線の運行や高齢者の通院支援サービス、中学生の修学旅行費助成などが開始されています。昨年度に引き続き、子育て支援から高齢者支援まで、幅の広い世代への支援を行うための施策が着々と実施されているのは喜ばしく、頼もしい限りではありますが、まだまだ様々な課題もございます。今後も議会と行政が議論を重ね一体となって、だれもが安心して生活ができる魅力的なまちづくりに取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとりまして、よき一年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

広報たいじで振り返る2024年



スポ GOMI 大会



令和6年能登半島地震義援金募金箱設置



白馬村への訪問



春の便り



小学校入学式



中学校入学式



ブルームレセプションパーティー



5基目のご当地ポスト設置



クジラの歯みがき



海上保安庁による事案対処訓練



くじらの博物館 開館55周年記念企画展



太地小学校運動会



11月2日(土)・3日(日)全国鯨フォーラム2024in太地

2021年まで開催されていた、捕鯨文化の継承・普及啓発を主眼に置いた「全国鯨フォーラム」について、2024年より再開し、太地町にて開催されました。

一日目は「鯨の町太地の30年構想について」「太地町の捕鯨と食文化の現状について」の基調講演と、登壇者によるパネルディスカッションが行われました。

二日目は、フォーラム参加者による国際鯨類施設や森浦湾くじらの海計画現地視察などが行われました。

11月13日(水)「くじらの町行き・白馬村民号」

姉妹都市提携40周年を記念し、「くじらの町行き・白馬村民号」として、白馬村民の方々が来町されました。

くじら博物館や梶取崎灯台の見学が行われ、姉妹都市太地の海の恵みや、あたたかな気候を肌で感じ、なお一層の親睦が深められました。



11月21日(木)～23日(土)いさな通学合宿

5年ぶりにいさな通学合宿が行われました。

通学合宿を通して、集団生活への適応能力や、子どもの自主性、自立心、仲間意識を育んだり、地域の人々とのつながりを深めて社会性を育むことが目的であり、今年は児童16人が参加しました。

夕食後には、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」が行われました。

太地町 **生き生き** 情報コーナー

お知らせ

放送大学入学生募集

放送大学はテレビ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま 2025 年 4 月入学生を募集しています。詳しい資料を送付致しますので、お気軽にお問合せください。

○募集学生の種類

- 教養学部 -

科目履修生 (6 ヶ月在学し、希望する科目を履修)
選科履修生 (1 年間在学し、希望する科目を履修)
全科履修生 (4 年以上在学し、卒業を目指す)

- 大学院 -

修士科目生 (6 ヶ月在学し、希望する科目を履修)
修士選科生 (1 年間在学し、希望する科目を履修)

○出願期間

2024 年 11 月 26 日 ~ 2025 年 2 月 28 日、2025 年 3 月 1 日 ~ 3 月 11 日 (インターネット出願も受け付けております)

○資料請求 (無料) ・お問合わせ先

放送大学和歌山学習センター

〒 641-0051 和歌山市西高松一丁目 7-20

TEL 073-431-0360

放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp>

お知らせ

【生涯学習講座ご案内】 歴史・自然講座 No. 6

「夏山の六字名号碑、五輪塔、弁財天社について」

講師：櫻井 敬人 氏

★日 時 令和7年2月7日 (金) 13:30 ~ 15:00

★会 場 太地町公民館 第一研修室

★定 員 20 名

★参加費 無料

★夏山の文化財について解説します。

「夏山には弁財天ノ小祠がある。磯際に岩穴がある。口の広さ2間ほど、高さ1間ばかり、内は8、9畳ほどの広さである。五輪の墓がある。奥に口が6尺余りの穴がある。石塔に宝徳4年の銘がある。」

(『紀伊続風土記』抄訳)

★参加希望の方は、1月14日(火) ~ 1月31日(金) までに太地町公民館 (59 - 2335) へお電話ください。

第12回南紀熊野ジオパークフェスタ

地域の方々にジオパークの魅力に触れていただくことを目的として、「ジオパークフェスタ」を開催します。

- 概要：ジオパーク活動の紹介や地元産品販売・飲食ブースなど（各種体験企画あり）
- 日時：令和7年3月9日（日） 10：00～14：30
- 場所：上富田文化会館（西牟婁郡上富田町朝来 758 - 1）
- 参加費：無料
- 申込：不要
- 問合せ先：南紀熊野ジオパークセンター
電話：0735-67-7100
ファックス：0735-67-7191
メール：e1004021@pref.wakayama.lg.jp
ホームページ：<https://nankikumanogeo.jp>

和歌山県最低賃金が改正決定されました

最低賃金の名称 和歌山県最低賃金

最低賃金額 時間額 980円

効力発生日 令和6年10月1日

適用範囲 和歌山県内で働く全ての労働者とその使用者

最低賃金法違反については罰則が設けられています。

また、仮に最低賃金額より低い賃金額を労使合意で定めても、法律により無効とされ、最低賃金額と同額の定めをしたものとみなされます。

詳細については、和歌山労働局労働基準部賃金室（TEL 073-488-1152）又は最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。



住民福祉課だより

『住民福祉課だより』の

各種内容に関するお問い合わせは、住民福祉課までお願いします。

☎ 0735-59-2335 (代)

糖尿病教室開催のご案内

不適切な食事習慣や運動不足など、日ごろの生活習慣と関連のある病気のことを“生活習慣病”と呼びます。なかでも糖尿病は、有病者・予備軍を合わせると約2,000万人（※）になるといわれています。高血糖状態が続くと、腎臓の機能が低下し、血液透析が必要となる場合もあります。重い合併症に悩まないよう、予防方法をお伝えします。（※平成28年度国民健康・栄養調査より）

『糖尿病について』

糖尿病の原因や予防法・治療法などのお話しや
講話終了後に先生を交えた座談会や簡単な体操を予定しています

【講師】 浦 仁志 先生
日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本内分泌学会内分泌代謝専門医
【日時】 令和7年 1月29日（水）
13:30～15:00

【場所】 公民館 第1研修室

【申込締切】 令和7年1月22日（水）

* その他 参加無料。どなたでもご参加いただけます。
会場準備のため、事前にお申し込みください。
血圧測定、尿検査等を行います。尿検査をご希望する方は当日ご持参ください。



問い合わせ / 申込み

保健係（電話 59-2335 / FAX 59-2801）まで

お名前とご連絡先をお伝えください

後期高齢者医療制度に加入されているみなさまへ

2月中旬に医療費通知を送付します。

被保険者の方が医療を受けた状況を確認できるよう、受診された医療機関等を一覧にした医療費通知を送付しています。

これまで5月と1月の年2回発送していましたが、令和7年2月より年1回発送に変更となります。

【問い合わせ先】和歌山県後期高齢者医療広域連合 (TEL 073-428-6688)

従来

発送時期	掲載する診療月
5月下旬	前年10月～12月
1月下旬	前年1月～9月

令和7年2月発送分から

発送時期	掲載する診療月
2月中旬	前年1月～12月

緊急通報装置のご案内



○緊急通報装置貸与事業

町内にお住いの、おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等を対象として、急病や緊急時に迅速に対応する緊急通報装置の貸し出し事業です。

○緊急通報装置の内容

・【緊急通報対応】

体調不良等に緊急ボタンを押すと、町の委託先の警備会社に連絡が入ります。



・【緊急時かけつけ】

緊急であれば、警備会社の職員が、自宅を訪問し、安否確認や救護・救急活動の支援を行います。

・【異常等の察知】

火災や生活リズムの異常を感知すると、警備員がかけつけます。

・【24時間健康相談】

健康について気になる事があれば、相談ボタンを押すだけで、看護師資格を持つスタッフによる24時間の健康相談が出来ます。

○利用料金（月額）

・月額700円（所得に応じ減免措置があります。）

○固定電話回線設置が条件となります。

お問い合わせ先 太地町役場 住民福祉課

TEL 0735-59-2335

新年の挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかに新年をお迎えになられましたことを心よりお祝い申し上げます。

また、旧年中は社会福祉協議会にたいしましてご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、昨年1月1日に発生しました「能登半島地震」また、9月には大雨による「奥能登豪雨災害」により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

当地域におきましても、8月に九州地方で起こりました南海トラフに関連した地震も発生しております。このような状況から災害への備えとして、皆様方が共に、寄り添い・支え合い・助け合いができる町づくり、今まで以上に強化していかなければならないと考え、多くの皆様にご参加いただき昨年11月に「災害ボランティアセンター」の立ち上げ訓練を行ったところでございます。

さて、町から委託を受けて実施しています、通院支援事業や買い物支援事業、介護予防事業等におきましては、月を追うごとに利用者様が増え、大変喜んでいただいています。

利用制限等がありますが、利用に際し迷われている方におかれましては、お気軽に社会福祉協議会や地域包括支援センターにお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

また、昨年10月に多目的センターのトレーニング機器も新しくなり、今まで以上に多くの方に利用していただき、健康・体力維持向上に取り組んでいただいています。

これからますます複雑多様化する地域社会に対応し、住み慣れた地域で末永く生活を送っていただけますよう、社会福祉の推進に取り組んで参る所存でございます。

昨年は、本会の役員をはじめ関係機関並びに町民の皆様方のご支援ご協力を賜りましたことを感謝申し上げますとともに、本年も引き続きよろしくようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様方にとりまして、実り多き素晴らしい1年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



太地町社会福祉協議会

会長 岡本 研

災害時対応訓練について

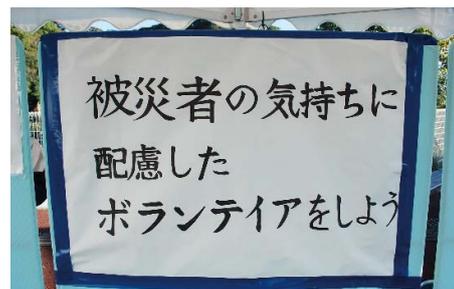
令和6年11月24日に太地町・社会福祉法人太地町社会福祉協議会が主催の災害時対応訓練を実施しました。

本訓練では、災害時に大きな被害を受けた際に設置する「災害ボランティアセンター」の設置・運営の訓練及び避難所の運営について体験を通して、それぞれの機能や役割について学びながら、災害が起こった際に地域で互いに助け合える関係を作ってもらふことや、その関係を作っていくことの大切さを学んでもらい、一人ひとりが平時からの必要な備えや取り組みについて学び・実践し、災害をみんなで乗り越えられる強い地域力をつけることを目的に実施しました。

午前実施した第1部については、「災害ボランティアセンター」の設置・運営訓練を実施しました。ボランティアさんを地域へ派遣し、災害時の備えや避難の仕方についてのアンケートをしてもらいました。参加していただいた地域住民の方に、ボランティアセンターの仕組みや取り組みについて学んでもらうと同時に、調査で訪問したお家の方と顔見知りにより地域とのつながりづくりとして活動していただきました。

また、センターの運営と同時進行で災害時に役立つワークショップとして、「ロープワーク」・「心配蘇生法」・「搬出法」を消防団の団員さんに教えていただきました。

南出様 講義の様子



ボランティア受付の様子



オリエンテーション



マッチングの様子



資機材の受取
車両の手配

第2部では太地町役場が主体となり「きいちゃんの災害避難ゲーム」を活用して、避難所運営を体験し、妊婦や発熱をしている方をどこに避難させるか、ゴミを捨てる場所を決める等、従事する内容や状況に応じて判断力を養うシミュレーションを行いました。前半では避難所運営のイメージを掴み、後半では太地小学校が避難所になった時、学校の教室や体育館をどのように使用して避難所を運営するかをグループに分かれて話し合いシミュレーションをしました。



避難所の運営について話し合い様子

今回、災害時対応訓練を実施して、多くの地域の方々が活動ボランティアとして参加していただくことができました。参加者さんからは地域ぐるみで行動すること、日頃から顔の見える関係づくりの大切さを学ぶことができた等の感想をいただきました。太地町社会福祉協議会としましても、今回の訓練を振り返り、来年も継続して訓練を実施する中で、少しずつ災害に対する地域の方々の意識を高めていくことで、住民同士が力を合わせて、日頃から互いに助け合いのできる関係づくりにつながるように努めていきたいと思えます。



ロープワーク体験講座



心肺蘇生法訓練



日本赤十字奉仕団
炊き出し訓練

手話サークル「いるか」1月 活動日のお知らせ

1月の活動日について、下記の通りお知らせいたします。

1月14日(火)

1月28日(火)

太地町社協 TEL 0735-59-3380
代表: 宇下 円 TEL 080-3869-1748



「新しい」

両手の5指の輪を上に向けて並べて置き、前へ出すと同時に開く。

○1月の事業予定表

名称	日程	時間	会場・備考	内容・対象など		
あおぞら体操	(毎週水曜日) 8日・15日 22日・29日	9:30~ 10:00~ 10:30~	暖海ゲートボール場 森浦地藏院前 平見消防屯所前	ラジオ体操やご当地健康体操を屋外で実施します どなたでも参加できます		
	(毎週木曜日) 9日・16日 23日・30日	9:30~ 10:00~ 10:30~	多目的センター駐車場 東の浜ふれあい広場 平見公園			
	男のトレーニング塾	(毎週水曜日) 8日・15日 22日・29日	9:30 ~10:30		多目的センター	町内にお住いの60歳以上の男性でかつ介護認定を受けていない方 医師に運動の制限を受けていない方
		まめなかに倶楽部	(毎週金曜日) 10日・17日 24日・31日		9:30 ~10:30	
	なかよし体操	東新(月曜日) 6日・20日	13:30 ~14:30		東新集会所	椅子に座って行う体操教室です 毎月1回は録画したビデオを見ながら体操を実施する日があります どなたでも参加できます
森浦(月曜日) 20日・27日		森浦集会所				
寄水(月曜日) 20日・27日		寄水集会所				
ふれあいサロン いっぷく亭	寄水(水曜日) 8日	13:30 ~15:30	寄水集会所	茶話会を中心に、不定期で生活や健康に関するお話を実施します 廃油の回収を行っています どなたでも参加できます		
	森浦(水曜日) 15日		森浦集会所			
	平見(水曜日) 22日		平見集会所			
	東新(水曜日) 29日		東新集会所			
社協の エクササイズ教室 (若がえる筋トレ)	22日(水曜日)	19:00 ~20:00	多目的センター	町内にお住いの介護認定を受けていない方 医師に運動の制限を受けていない方		
買い物 支援サービス	15日(水曜日)	バス時刻表は 過去発行の広報誌で 確認をお願いします。	受付開始: 6日~ 締切り: 10日	町内にお住いの65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯の方 (要申込み) ※その他非該当となる要件があります		

太地町社会福祉協議会/地域包括支援センター

TEL 0735-59-3380/FAX 0735-59-4332/本会HP





セント・メアリーズ校のジェニファー・ケンブリッジ教諭(左端, 2010)

コロナ禍による交流中断と再開

Interruption of exchange by coronavirus pandemic

新型コロナウイルス感染症の世界的流行のために、太地とブルームの間で続けられてきた姉妹都市青少年交流事業は、令和2年(2020)から令和4年(2022)まで中断を余儀なくされた。

交流事業に携わるものは、それが太地の中学校生徒にとって貴重な経験になると信じて取り組んでいるが、ブルーム側でも同様な思いであるらしい。以下に引用する文章は、平成22年(2010)7月末に、セント・メアリーズ校から初めて太地に派遣された生徒を引率したジェニファー・ケンブリッジ教諭が書いたものである。

「ブルームと太地の歴史的な繋がりを学ぶことで、(ブルームの)生徒たちは、太地の中学校生徒となぜ関わり合うことになったのかを知る。将来、彼らは学

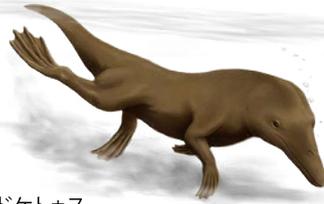
校や町の親善大使として活躍することになるだろう。太地の人々は、現在もおブルームに対して非常に強い縁を感じている。それゆえ、ブルームから生徒が太地を訪ねたこと、つまり太地とブルームの関係を未来に繋いだことを、太地の人々がどれだけ喜んでくれたことか。そして私たちがどれだけ温かくもてなしてくれたことか。太地を訪問したブルームの使節団員たちは、ブルームに戻ってから皆に伝えることであろう。学校や町を代表して他国を訪れ、異文化を経験することは、自分自身の文化や歴史を学び、考えるきっかけになる。交流事業で学んだことを他人と共有することは、セント・メアリーズ・カレッジの生徒たちにとってかけがえのない経験となるに違いない。」



パキケトゥス



アンプロケトゥス



ロドケトゥス



ドルドン

図1 初期鯨類の一例

ヘビに足があり、クジラは陸を歩いていた!?

新しい年が始まりました。今年の干支はヘビということで、ヘビに関連した話題を紹介したいと思います。

その昔、中国の楚という国でヘビの絵を早く描く競争が行われた際に、最初に描き上げた人がつい余裕をみせて足まで描き足してしまっただけのために勝負に負けてしまったという逸話があります。「あっても役に立たないもの、付け加えても利益にならない無駄なもの」という意で用いられる「蛇足」という言葉の由来となった有名な故事です。

さて、この話からも分かるように、現在の私たちの身の回りにいるヘビにはいわゆる足がないのが一般的です。しかし、研究者たちは分類学的に、ヘビを「4本の足をもつ動物」という意味の「四肢動物」と呼ばれるグループに位置づけています。不思議に思われる方もいらっしゃると思いますが、実はこれにはヘビの祖先が大きく関係しているのです。

さて、この話からも分かるように、現在の私たちの身の回りにいるヘビにはいわゆる足がないのが一般的です。しかし、研究者たちは分類学的に、ヘビを「4本の足をもつ動物」という意味の「四肢動物」と呼ばれるグループに位置づけています。不思議に思われる方もいらっしゃると思いますが、実はこれにはヘビの祖先が大きく関係しているのです。遺伝子を調べるとヘビとトカゲは近縁であるようです。諸説あるものの、ヘビの祖先が地中に棲んでいたトカゲの仲間であったとする研究者は多く、かつては足が4本ある動物だったと考えられています。現在私たちが目にするヘビは、遺伝子によって足が成長しないようになっていますが、ニシキヘビなど一部の原始的なヘビの骨格には、今でも肋骨の下の方に足と腰の部分の骨が少し残されていて、祖先に足が生えていたことを窺い知ることができるのです。つまり、4本足であったヘビの祖先は、長い年月をかけて足が失われるよう進化(退化)し続け、地面を這ったり穴を掘ったり泳いだりするのに適した身体を手に入れることで環境に適応してきたといえるのです。

このような四肢の退化は鯨類の進化の過程にもみられます。初期のクジラをみてみましょう(図1)。「ムカシクジラ類」と呼ばれる初期のクジラの中でも、最古級で代表的なのがパキケトゥスです。化石が発掘された場所にちなんで「パキスタンのクジラ」と名付けられたこの動物には4本の足がはっきりと確認でき、およそクジラとは似つかない姿をしていることが見て取れます。今から約5,000万年前、始新世と呼ばれる時代に生きたとされる彼らは、淡水域において水中と陸を行き来する現生のワニに近い生態を

していたと考えられています。そして、彼らの出現から100万年ほど経過した頃にアンプロケトゥスが登場します。大型犬ほどだったパキケトゥスに対して、アンプロケトゥスの体長は3mほどに大きくなり、四肢の先端には水かきを発達させていたと考える研究者もいます。彼らもパキケトゥス同様に生活の大半を水中で過ごしていたとされていますが、興味深いことに歯の化石の化学分析の結果から彼らが汽水環境で生活していたことが明らかになっています。また近年の研究では、彼らの肋骨の強度が弱いことから、更なる水棲適応が進んでいた可能性も示唆されています。こうして淡水域から汽水域、さらに海へと進出したクジラの祖先は、ほどなくして完全に海の生物となりました。陸で暮らす必要がなくなると、歩く能力は失われ、前足は遊泳時に舵をとるための胸鰭へと変わり、後足は退化して小さくなりやがて消失していきます。そして、体は流線型になり、鼻の穴は遊泳中でも呼吸がしやすい頭の上に移るなど、水の中で生活する上で適した身体的特徴を身につけていくことになるのです。

進化学的にも驚くべき速さで進化を重ねたクジラの仲間は、約3,000万年前にはヒゲクジラとハクジラに分かれ、現在の私たちが目にするクジラとほぼ変わらぬ姿となったといわれています。現在の姿からは、4本の足で陸を闊歩していた当時を想像することは難しくなりましたが、骨格をみれば後足の名残ともいえる痕跡骨が残っていますし、胎児期には後足の基になる部分が一時的に形成されることも知られています。また、2006年に太地沖で発見された腹びれのあるバンドウイルカ「はるか」の例などからも後足をつくる遺伝子が今なお彼らの身体の中に刻み込まれていることを知ることができるのです。

●参考文献

「生命の大進化 40億年史 哺乳類の時代—多様化、氷河の時代、そして人類の誕生」、土屋健著、講談社
「クジラが歩いていたころ」、ドゥーガル・ディクソン著、化学同人

《保健衛生関係 1 月行事予定》

健康相談

月 日	事業名	時間	場所
1月8日(水)	成人健康相談(血圧測定)	10:30 ~ 11:00	公民館
		13:00 ~ 13:30	平見集会所
		13:45 ~ 14:15	老人憩の家
		14:30 ~ 15:00	寄水集会所
1月27日(月)	成人健康相談(血圧測定)	14:30 ~ 15:00	森浦集会所
1月22日(水)	乳幼児健康相談	10:00 ~ 11:30	ふれあいルーム

※成人健康相談(血圧測定)で、検尿を希望の方は、自宅で採尿をしてお持ちください。

健康教育

月 日	事業名	時間	場所
なかよし体操 あおぞら体操	なかよし体操及びあおぞら体操の日程は、 本誌13ページの社協だより“事業予定表”欄へ掲載しています。		

健診

月 日	事業名	時間	場所
1月9日(木)	1歳6か月児健診	12:50 ~ 13:10(受付)	多目的センター
	3歳6か月児健診	12:30 ~ 12:50(受付)	
1月23日(木)	4か月児健診	9:30 ~ 9:40(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
	10か月児健診	9:30 ~ 9:40(受付)	

白馬からのお便り

姉妹都市「白馬村」コーナー



「神城断層地震から10年シンポジウム」

神城断層地震から10年シンポジウムを開催しました
11月22日金曜日にウイング21ホールにて「神城断層地震から10年シンポジウム」を開催しました。震災から10年を迎えた今、災害の記憶を伝える、つなげるをテーマに過去の教訓を振り返り、学び伝え続けていく場として白馬村、小谷村、信州大学合同で開催しました。

国士舘大学名誉教授の山崎登氏による基調講演「防災教育が目指すもの」から始まり、地域防災教育に取り組んだ小谷小学校と白馬中学校の児童・生徒たちの発表など、震災の記憶を風化させないための取組について、多くの住民の皆様にも再認識していただく機会となりました。



住民基本台帳

(令和6年11月末日現在)

総人口 2,831人

男 1,269人

女 1,562人

世帯数 1,555世帯

(前月比: 総人口 5人増)

世帯数 2世帯増)

飼いだ・飼い猫のフコの復始末は、
飼い主が責任を持って行いましょう。

また、飼い猫以外には餌を与えないでください。

役場 住民福祉課